

長 崎 県 税 務 統 計

No. 7 2

令 和 5 年 度



長 崎 県 総 務 部 税 務 課

は し が き

本県の景気は、個人消費や観光分野で回復基調にあるなど、緩やかに回復しております。先行きについては、企業の人手不足感の強まりと物価上昇による影響のほか、海外経済を巡る不確実性の高まりなどによる影響を注視していく必要があります。

こうした中、長崎県においては、長期化する物価高騰への対応に取り組むことと併せ、多様な社会課題に直面する中にあっても、世界に自慢できる本県のポテンシャルを活かし、激しさを増す地域間競争を勝ち抜くとともに、本県の誇りや未来への期待感を抱きながら、大きな夢を描いていただけの長崎県づくりに向け、「新しい長崎県づくりのビジョン」を策定し、併せて、県勢のさらなる発展に向けて、県政運営の全般的な指針である長崎県総合計画を推進していくこととしています。

さて、令和5年度の県税収入は、13億円の減となったものの、過去最高を更新した前年度に次ぐ1,347億円となりました。徴収率については、過去最高でありました前々年度から引き続き99.1%を維持することができました。これも納税者の皆様のご理解とご協力並びに税務職員による自主財源確保の種々の取り組みによる一定の成果と考えております。

今後とも、県税に係る事務遂行に当たっては、適正・公平な賦課徴収による自主財源の確保に努め、納税者の皆様に信頼される税務行政を推進してまいります。

この「税務統計」は、令和5年度における県税の賦課徴収状況を取りまとめたものです。

本統計が多く県の民の皆様に利用され、県税に対するご理解をさらに深める一助となれば幸甚に存じます。

令和6年11月

長崎県総務部税務課長

田端 健二